

安曇野市消防団広報

全国女性消防操法大会編



第26回 全国女性消防操法大会



大会

市消防団初の全国の舞台 横浜赤レンガ倉庫で女性消防隊が躍動



第26回全国女性消防操法大会に市消防団女性消防隊が長野県代表として初出場しました。全国女性消防操法大会は2年ごとに開催され、長野県では4つのブロックが持ち回りで出場チームを選考。市女性消防隊は約5カ月の練習期間を経て10月28日、横浜赤レンガ倉庫イベント広場でこれまでの練習の成果を披露しました。

初の舞台 初の操法

大会当日は全国各地から44チームが集結。会場内は消防関係者に加え出場チームの家族らが駆け付けるなどにぎわいを見せていました。



会場入りした選手たちは笑顔を見せるなどリラックスした様子で準備をしていましたが、順番が近づくにつれ緊張感が増し、競技レーンに整列したときには鋭く火点を見つめていました。審査員が配置につき、開始の合図が出ると、選手らは自らを鼓舞するように番員番号を発声していました。

指揮者の「操作始め」の号令と同時に1番員は筒先とホースを担いで火点へ、2番員はホースを延ばしポンプへ結合すると、延ばしたホースの金具ともう一本ホースを持って火点へ向かいます。3・4番員はポンプから吸管を取り出し水槽へ投入。補助員は吸管が浮かないよう支え、その間に3番員はロープを固定し、4番員はポンプを始動させます。選手それぞれが役割を素早く正確にこなしつつ連携した動きを見せます。

1番員が延ばしたホースに2番員がホースを結合し、いざ送水。4番



員がコックを開き、スロットルを回して水圧を上げていきます。ホースが膨らみ、3番員が1番員の補助に入ると間もなく筒先から勢いよく水が飛び出し、火点を倒しました。

さまざまな人に支えられて

競技を終えた選手らには会場から労いの言葉や拍手が送られました。肩の荷が下り安堵の表情を見せる選手もいれば、少し悔しさをにじませる選手も。自分たちらしい操法ができた振り返りつつ、指導員をはじめ多くの団員や家族など、さまざまな人の支えへの感謝をかみしめていました。

訓練

5月下旬から大会当日までの約5カ月間、指導員をはじめ各分団や消防署員など、多くの皆さんに支えられながら週2回練習してきました。



1



2



3



4



5



6



7



8



9

①まずはランニングで体力づくり
②練習を見守る団員・隊員 ③勢いよく吸管を伸ばす3・4番員 ④激励の抱擁 ⑤何度も練習しているホース展張 ⑥放水、止め ⑦筒先操作を何度も確認 ⑧人知れず道具の手入れもしてくれた指導員 ⑨テレビ取材に応じる選手たち



大会を終えて――

選手 Interview



操法隊長 野本 和代

女性消防隊の20年間の積み重ね、そして団員や市民の皆さんに応援をしてもらって、全国大会に出場できました。ありがとうございました。



指揮者 近藤 みか

選手選考や練習日程の調整など当日まで気が抜けませんでしたが、無事大会を終え、ほっとしています。協力いただいた皆さんに感謝です。



1番員 池田 昭子

熱心なご指導と多大なご支援をいただき、貴重な経験を積めました。私たちらしい操法を行うことができ、心より感謝しています。



2番員 渡邊 加奈

明るい仲間と指導員の支え、全国という夢舞台で全力を発揮する事ができました。支えてくださった全ての方々に心から感謝いたします。



3番員 降旗 久子

全国大会という大舞台に立たせていただき、見た景色、感じた高揚感。素晴らしい体験でした。携わっていただいた皆さんに感謝しています。



4番員 平林 眞智子

「楽しかった～」最高の指導者に会い最高のメンバーが集まり最高の操法が出来ました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。



補助員 岡本 暁子

指導員や関わってくれた団員の皆さん、応援してくれた女性隊の仲間、選手と充実した日々を過ごせました。心から感謝しています。

これまで 応援・ご協力
いただいた 皆様、
ありがとうございました。

団長からのひとこと

安曇野市消防団長

高橋 稔



練習は長期間に及びましたが毎回真剣に取り組みながらも、休憩の時には笑顔で仲睦まじい姿でいたことが特に印象に残っています。当日は会場で応援し、選手の皆さんがこれまで練習してきた成果を感じ胸が熱くなりました。選手の皆さんお疲れ様でした。また、今回の出場に関して協力してくださった皆様に感謝の気持ちとお礼を申し上げます。

女性消防隊は、火災予防のパトロールや地域の救命救急指導などの活動を行う部隊。操法のように直接火災現場へ出向いて消火活動をする事はありませんが、予防活動も地域の安全を守るうえで大変重要な活動で、必要不可欠なものです。

ぜひ、女性消防隊の活動に興味がありましたら気軽にご連絡ください！一緒に活動してくれる人をいつでも募集しています！

指導員
より



操法経験ゼロからのスタートでしたが、文句ひとつ言わず、ひたむきに努力する姿に何度も心を打たれました。

指導する側の私達も、選手と共に楽しく練習に取り組めたことで、苦勞を感じることなく充実した本当に楽しい日々を過ごせた事は、かけがえのない時間でした。

指導員 小林 祐介 (左)

仕事、家庭、プライベートなど、色々なものを背負って日々過ごしている中で、ポンプ操法をやることは非常に大変なこと。でも選手の皆さんは、「笑顔」で「美しく」を忘れずに、全国大会まで闘いました。大会で見せた選手の皆さんの勇姿は忘れません。私も一緒に闘うことができたこのひときは、言葉に表せない財産です。特別な時間をありがとう！！

副指導員 丸山 剛 (右)

安曇野市消防団 3つのホンネ!

1

報酬・退職金、あります

訓練や出勤、行事の実績に応じて、報酬が支払われます。勤務年数によって退職報奨金もあります。



2

お酒は、飲める機会に

慰労会参加・飲酒を強要はしません。自分のペースで。



3

活動は、個人の都合で

都合が悪いときはお互い様。各自の生活スタイルや家庭・仕事の都合に合わせて、柔軟に活動できます。



安曇野市消防団
応援キャラクター
ショウくん

消防団員、いつでも募集中。

安曇野市消防団に加入する条件は「市内在住または在勤で18歳以上」であること。これだけ。あなたの入団を待っています！

【お問い合わせ】安曇野市 危機管理課 ☎: 0263-72-6769 (平日9:00~17:00)



Instagram



入団するには



長野朝日放送
女性消防隊が全国大会へ！